

## 2・25 CU東京拡大推進決起集会

### 500 人の組織をめざす

CU東京は2月25日、ラパスホールにおいて拡大推進決起集会(写真上、同懇親会・下)を開きました。



各地から26人の参加となりました。

昨年6月の結成大会以来8ヵ月とな

るCU東京は、組織人数は現在140人に留まっています。この間、東京を中心とする非正規労働者



や労働組合に組織されていない中小零細企業に働く労働者の組織化をめざし、労組幹部や組合活

動家、単産労組をはじめ各地域、区労連、地区労などが組織化に奮闘してきました。

決起集会は6月の第2回大会までに、地域で20の支部結成、全体で500人のCU東京とするために取り組まれたものです。冒頭、平山副委員長より、「CU東京の役割と発展方向」と題して講演が行なわれました。関根書記長より拡大運動の行動提起がおこなわれました。

#### 労働組合の社会的役割

平山さんは、憲法を生かす社会的運動と労働運動に触れて、「資本の利潤追求の野望『新自由主義

政策』によってもたらされた「貧困と格差」「内需の脆弱化」富の大企業への集中は、個々の労使関係のたたかいだけでは解決しません」、「労働運動は、雇用保障や失業者への支援、最低賃金の大幅引き上げ・労働者派遣法の抜本改正など『働くルールの確立』、破壊された社会保障の再建と充実、中小企業への支援などの国政の転換と、『内部留保の社会的還元』など大企業の社会的責任を果たさせるたたかいの先頭にたつことが期待されています。」・・・と長い引用となりましたが、労働者であれば誰でもが労働組合に加入でき、労働者の雇用・暮らしを守ることを要求できる権利が、憲法の上でも認められていることを強調されました。

つまり、私たちの運動は正義のたたかいであり、労働組合の社会的役割を果たしていくたたかいでもあります。CU東京は非正規労働者、未組織労働者への「掘りどころ」として拡大強化が求められているのです。

#### 集会での主な発言

**品川** 入院給付を受けた組合員の家族から助かったとお礼の連絡をうけた。地域の「怒りの総行動」の集会でも、こまめにCU東京のチラシを配布しています。青年からは労働組合の学習の要求もでている。

**江東** 3月3日、雛祭り交流会を企画、新加入者組合員の参加を呼びかけています。先の共済学習会の経験でも、執行委員の共済制度学習は必要となっている。

**建交労** CU東京の学習会を開いて、執行委員会の雰囲気が変わってきている。

**千代田** 地域性もあり正規労働者の労働相談が多い。駅頭宣伝については集中的な取り組みも必要ではないか。

**土建** 連絡はメルマガの活用を

